

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	就労準備型芳泉（クラス1：就労準備型芳泉）		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日		～ 令和 6 年 11 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日		～ 令和 6 年 11 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 11 月 28 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学校の高学年～高校生対象の事業所です。将来に向け、安定した生活リズムや時間の管理、金銭管理や危険への対処等、活動を通して日常生活に必要な知識を学び、自己管理能力を身につけるように支援しています	1月（初詣）2月（恵方巻作り）3月（いちご狩り、お楽しみ会）4月（花見）5月（BBQ）6月（職業体験）7月（夏まつり）8月（工場見学、YouTube制作、デイキャンプ）9月（ぶどう狩り）10月（ハロウィン）11月（職業体験）12月（クリスマス会）毎月（外出、調理体験、ドローン体験等）で将来につながる体験をしてもらっています	職員の資質の向上を行うために、今以上に計画的に研修の機会を確保していきます
2	同一敷地内にある、地域の小学生対象の放課後等デイサービス事業所の子どもが高学年になるタイミングで、弊事業所への移行を子どもと保護者と話し合いながら検討しています	相談支援専門員や隣の小学生対象クラスの施設長と連携を取りながら、子どもにとってより良い環境を検討し、体験利用を経て利用につなげています	合同イベント（餅つき大会・キッチンカーのピザ販売体験・デイキャンプ等）を通じ、小学生の子ども達と更に交流を深めていきます
3	就労支援事業所へ子ども達と見学や体験に出かけています。また、夏休み等に就労支援事業所の実習に参加させていただき、仕事について学ぶ機会を設けています	地域の中学や特別支援学校の先生、相談支援専門員と連携を取りながら、見学、体験を経て卒業後に就労につながるよう連携を取っています	来年度は普段の活動で、小学生クラスの子どもの達と弊事業所の子ども達や支援者との交流の場を設け、お互いを知る機会とし、子ども達が安心できる場をつくっていきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就労に向け、中高生への支援を主に行っていきたいが、小学校の高学年の割合が増えてきたこともあり、活動内容をどちらか一方に合わせることで困難なことがあります	年度によって、高校生が多い年もあれば小学生が多い年もあるため、その年々に合わせた内容を幅広く検討する必要があることが要因として考えられます	同じ活動をする際も、年齢に合わせた内容をきめ細かく設定し提供していく工夫が必要です
2	コロナ禍前は、保護者を就労支援事業所に案内する支援を行っていたが、今年度も対応させていただくことができませんでした	そろそろ企画をしようと思った矢先に感染症が流行したことが、課題の要因としてあげられます	来年度は早めに就労支援事業所に予約をし、就労支援事業所の違い（就労移行、A、B、生活介護）について保護者に理解していただくために、見学ツアーの声掛けをしていきます
3	月1回臨床心理士の保護者相談会を実施し、希望者にはペアレントトレーニングを行っているものの、一部に過ぎない現状がある。保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行うことが求められると感じています	ペアレントトレーニングに関する知識や技術習得の機会が事業所として得られていないことが要因として考えられます	来年度はペアレントトレーニングの研修年間計画を立て、事業所として取り組んでいきます